

メッセージと今後の進め方等について (案)

博覧会推進室
平成30年1月

1. 日本館が発信すべきメッセージ等について (案)

出展により目指すもの

- ① 中東をはじめとする国際社会における日本のプレゼンスの向上
ありのままの日本を発信し、日本を好きになってもらい、日本の信頼を獲得する。
- ② 産業の振興
海外進出・展開を後押しする。その際、地域のニーズやポテンシャル、地域振興、業種横断的な協働、新規産業の創出といった観点を重視する。
- ③ インバウンドの増加
本物の日本に触れる機会を提供し、来館者の訪日につなげる。
- ④ レガシーの継承と創出
過去博の理念を継承し、新たなレガシーを創出する。特に日本が2025年国際博覧会の開催国に選ばれた際には機運醸成を行う。また、日本館を未来へ残すべき記録へと昇華させる。
- ⑤ 次世代を担う人材の活躍
次世代の若手クリエイター等に活躍の機会を提供することで、人材育成を目指す。

メッセージの検討の視点

- ① キーワードは“Connect”
ドバイ博のテーマや特性を踏まえ、“Connect”をキーワードと捉え、日本らしく解釈する。
- ② 日本らしさ、日本の強みの発信
日本の独自性の発揮、他国との差別化を強く意識し、技術のみならず、精神性、文化、歴史等も立体的に表現する。
- ③ 「人間のあり方」を中心に据えた技術力発信
技術がいかに社会や人のあり方に作用し、その結果、人がどのような未来社会を目指していくのかを表現する。
- ④ シンプルで分かりやすいメッセージ
日本の独りよがりにならないよう、言葉や文化の壁を超えて、誰にでも分かりやすい明快でシンプルなメッセージとし、日本館全体で表現する。
- ⑤ 2025年国際博覧会へのつながり
2025年国際博覧会立候補国として、日本が提案しているテーマやコンセプトと一貫性のあるメッセージとする。

日本館が発信すべきメッセージ

- “Connect”をキーワードに、日本独自の精神性、技術、文化等を素材とし、日本の力が切り拓く未来社会の可能性を国際社会に対して発信していく。

(1) 時間を超えてつながる

長い歴史を有し、古き良き文化・伝統を保ちつつも、新しいものへの挑戦を続ける日本の「伝統と革新」の精神や、時間を超えた知の交流が未来を創っていくことを示す。

【例】 日本の伝統・文化と最新技術を掛け合わせた新たなコンテンツの創出

(2) 空間を超えてつながる

物理的な距離や分野の垣根を超えて、あらゆるものがつながる社会を目指す日本のイノベーションが、世界の課題を解決していくことを示す。

【例】 通信技術、人工知能等を活かした新たな社会像、課題解決策の提示

(3) 国境を超えてつながる

日本が古来より培ってきた異質なものに対する寛容さや、異なる思想・文化を吸収し、独自のものと昇華させていく柔軟さ、クリエイティビティが生み出す新たな可能性を示す。

【例】 地域のニーズやポテンシャルを踏まえた新たな共創の実現

この具体化に際しては、「ありのままの日本」を発信するため、

- ①実物を五感で感じられる空間デザイン
- ②通信技術等による疑似体験の提供
- ③日本の心に触れられる体験の創出 等、

日本らしさを強く印象付ける展示等を企画・製作することとする。

2. 今後の進め方について(案)

今後の進め方に関して

①主なスケジュール

平成30年度：建築・展示の設計、運営・行催事・商業スペース計画の策定など

平成31年度：建築・展示の施工、運営・行催事・商業スペースの諸準備など

平成32年度：各種施工・準備の完了、開幕

②推進体制

J E T R Oに展示等の専門家からなるクリエイティブ・アドバイザーチーム（仮）を新たに設置

③次世代のクリエイター等、若者の活躍推進

展示、建築の設計、施工等に関して、仕様や応募要件を工夫して入札を行うなど、次世代を担う人材の活躍を推進する仕組みを検討

④知恵を集めて創る仕組み

展示、広報、運営、商業活動等に関して、現地の意見を取り込む仕組みを検討

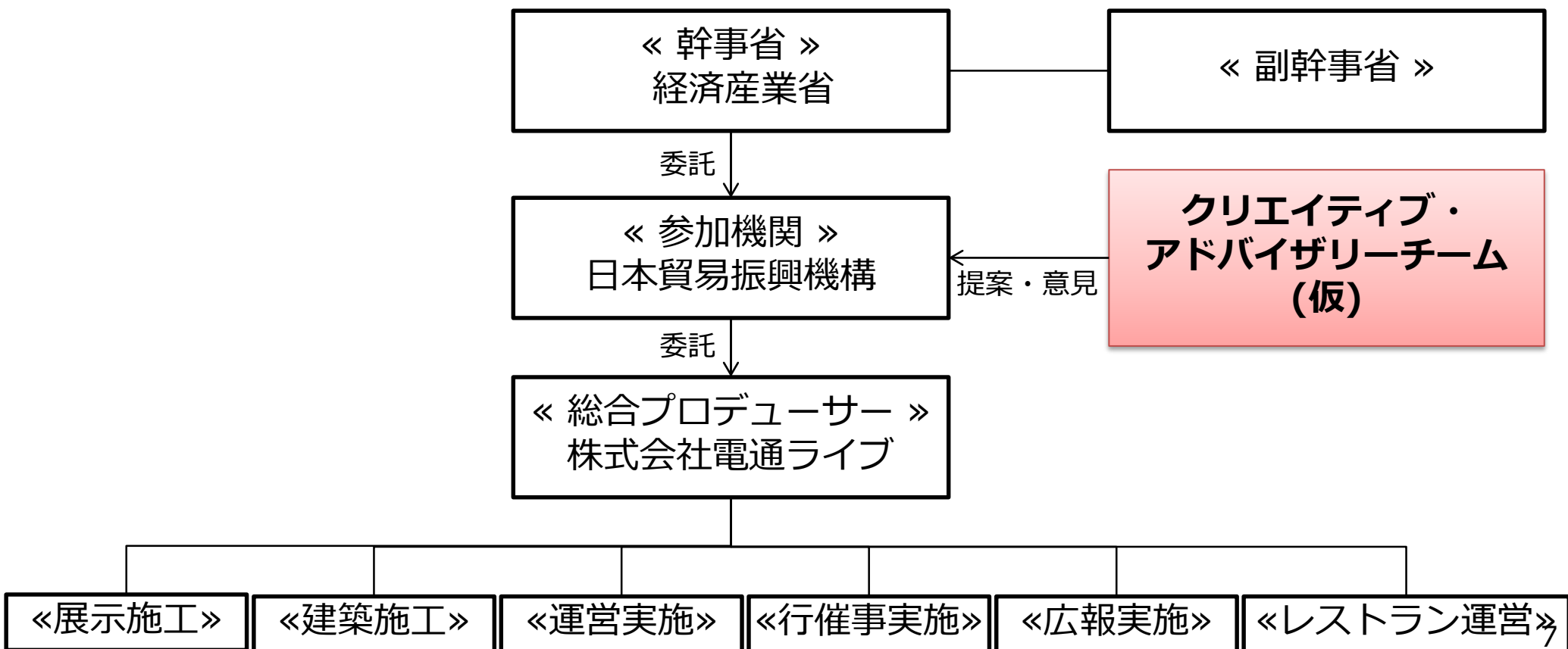
（例）トバイ在住者を対象としたアイデアソンの実施、日本館体験モニター調査の実施

⑤今後の本検討会委員の役割

基本計画策定後も、随時、進捗状況の報告を受けて、助言

クリエイティブ・アドバイザリーチーム（仮）の設置について（案）

- JETROに、展示や建築などの専門的な知識を有する者からなるクリエイティブ・アドバイザリーチーム（仮）を設置してはどうか。
- 同チームは、実務レベルの打合せに定期的に参加し、専門的な見地から、コンセプトの具体化や専門人材の活用方法（次世代の人材の発掘を含む）など、日本館出展事業全般に渡る提案・意見を行うこととしてはどうか。



若手人材の活躍を促す仕組みについて（案）

- 次世代のクリエイター等に活躍の機会を提供し、人材育成を図ることは国際博覧会の重要な意義の1つ。
- 展示、建築の設計、施工等に関して、仕様や応募要件を工夫して入札を行うなど、次世代を担う人材の活躍を推進する仕組みを検討してはどうか。

【参考】2010年上海国際博覧会での日本館ロゴマークの選定プロセス

○JETROが、若手デザイナーを指名したデザインコンペを実施。

○指名対象は、日本グラフィックデザイナー協会の近年の新人賞受賞者。
※毎年10月31日時点で39歳以下の当該協会正会員が対象

○6名のデザイナーより23作品が応募。

○審査員5名による審査の後、23作品うち、1点が採択。